



保険証廃止反対と集会

保険証廃止反対と寄せられた署名数をアピールする医師ら=17日、衆院第2議員会館 → 記事⑤面

厚生労働省は17日、75歳以上が支払う医療保険料について、負担能力に応じた負担の強化を掲げながら、高額所得者だけでなく中間所得者を含む、1人当たり年4000円（2024年度）引き上げる事を社会保障審議会の部会に示しました。財界側の委員らが懸念を示す一方、10月から原則1割負担の医療費窓口負担を示す一方で、連続負担増を懸念する意見が相次ぎました。

75歳以上の医療保険料は年々引き上げられ、現在は全国平均で一人当たり月6472円。厚労省は国庫負

厚生労働省は17日、75歳以上が支払う医療保険料について、負担能力に応じた負担の強化を掲げながら、高額所得者だけでなく中間所得者を含む、1人当たり年4000円（2024年度）引き上げる事を社会保障審議会の部会に示しました。財界側の委員らが懸念を示す一方、10月から原則1割負担の医療費窓口負担を示す一方で、連続負担増を懸念する意見が相次ぎました。

75歳以上の医療保険料は年々引き上げられ、現在は全国平均で一人当たり月6472円。厚労省は国庫負

厚労省が提示

23年の通常国会に開運法案を提出し、24年度からの導入を計画。24年度で計8

20億円の負担増となり、1人当たり4000円の引き上げです。対して中小企業の従業員らが加入する協会けんぽの保険料は、一人当たり年800円減、月70円減ことになります。国費

は年50億円減となります。

岸田政権は增收分を出産

育児一時金の財源に充てる

として、負担増を正当化し

ています。

部会では「負担が急に増えすぎている」（日本医師会）との意見が相次ぎまし

医療保険料上げ中間層も 75歳以上の4割直撃

担割合を減らしてきた経緯には無反対で、現役世代から75歳以上の医療保険への「支援金」の抑制を口実に、「能力に応じた負担」と主張。後期高齢者の1%を占める「高額所得者」を対象に、保険料上限を年66万円から年80万円に引き上げるしました。

年金のみで年153万円超の収入がある人についても、収入に応じて決まる保険料の「所得割」部分を引き上げます。中間層への負担増で保険料上限の上げ幅を抑えます。75歳以上の約4割に負担増が直撃する見通します。

年金のみで年153万円超の収入がある人についても、収入に応じて決まる保険料の「所得割」部分を引き上げます。中間層への負

担増で保険料上限の上げ幅を抑えます。75歳以上の約4割に負担増が直撃する見通します。

年金のみで年153万円超の収入がある人についても、収入に応じて決まる保険料の「所得割」部分を引き上げます。中間層への負

担増で保険料上限の上げ幅を抑えます。75歳以上の約4割に負担増が直撃する見通します。

1/18 木

その金あれば医療費負担減を

ました。

た。

政府が2024年秋に保険証を廃止し、国民への事実上のマイナンバーカード強制などを行おうとしていることに反対する緊急の集会が17日、衆院第2議員会館で行われ、オンライン配信と合わせ、400人以上が参加しました。

共通番号いらないネット、全国医療団体連合会など4団体の主催。

全国医療団体連合会の住江憲勇会長は、マイナンバーカードの取得は任意が原則で、それを破棄しない限り、保険証のマイナンバーカードへの一本化は不可能と強調し

原田富弘さんは、マイナンバーカードを取得しない人への対応など、詳細を決めないまま保険証廃止の方針を決めたことを厳しく批判。

東京高齢期運動連絡会の谷正貞事務局長はマイナンバーカードが高齢者には使いづらいと指摘。今後もシステム導入に費用がかかることに「そのお金があれば、高齢者医療費の窓口負担2倍化、介護保険給付削減を中止せよ」といったい」と訴え、会場から大きな拍手が上がりまし

「保険証の廃止ノー」

医療者ら緊急集会

東京保険医協会の吉田章副会長は、マイナンバーカードを利用した医療情報の集約について、「ある医師に話しても、別の医療機関には知られたくない」ともある。「自己情報決定権」の侵害の可能性がある」と告発しました。保険証廃止に反対する署名が13万人超から寄せられたことも報告されました。

野党各党の国会議員が参加しあいました。日本共産党中央委員会議員、倉林明子、吉良よし子、伊藤由香子院議員が参加しました。